

## 平成25年度電気技術者資質向上事業の実施結果

平成26年3月19日

「電気技術者資質向上事業」は、関係機関が実施を計画する電気技術者の資質向上を目的とする事業(以下、「資質向上事業」という。)を支援すること等により、当事業の着実な実施、さらなる普及・拡大等を通じて、電気技術者の資質の向上を図り、もって我が国の電気保安の確保に寄与することを目的に実施

平成25年度の事業実施結果は、次のとおり

### 1. 経過

- ・平成25年4月1日(月)～10月31日(木)  
当試験センターホームページで提案を募集  
6件の提案があった。
- ・平成25年5月8日(水)  
「平成25年度第1回電気技術者資質向上アドバイザー委員会」を開催  
次の2件の採択が適当とされた。
- ・平成25年5月8日(水)
  - ・「関西地区電気工事技能コンクール大会」 (関西電気工事工業会)
  - ・「第13回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門開催事業」 (北海道工業高等学校長会)の2事業を採択決定し通知
- ・平成25年9月4日(水)  
「平成25年度第2回電気技術者資質向上アドバイザー委員会」を開催  
次の4件の採択が適当とされた。
- ・平成25年9月4日(水)
  - ・「第20回配電工事安全技能競技会」 (北陸電気工事組合連合会)
  - ・「第32回引込および内線工事技能オリンピック大会」 (中部電気工事協力会連合会)
  - ・「平成25年度全九州技能競技大会」 (一般社団法人全九州電気工事業協会)
  - ・「第14回全中国電工連技能競技大会」 (鳥取大会) (全中国電気工事組合連合会)の4事業を採択決定し通知

### 2. 支援対象事業の実施結果

6事業については、次のとおり実施された。

- ・「関西地区電気工事技能コンクール大会」 (関西電気工事工業会)

- 平成25年5月14日（火）に実施 表1参照
- ・「第13回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門開催事業」  
(北海道工業高等学校長会)
- 平成25年6月7日（金）に実施 表2参照
- ・「第20回配電工事安全技能競技会」  
(北陸電気工事組合連合会)
- 平成25年9月24日（火）に実施 表3参照
- ・「第32回引込および内線工事技能オリンピック大会」  
(中部電気工事協力会連合会)
- 平成25年11月7日（木）に実施 表4参照
- ・「平成25年度 全九州技能競技大会」 (一般社団法人 全九州電気工事業協会)
- 平成25年11月9日（土）に実施 表5参照
- ・「第14回全中国電工連技能競技大会」 鳥取大会)  
(全中国電気工事組合連合会)
- 平成25年11月29日（金）に実施 表6参照

### 3. その他

平成26年度電気技術者資質向上事業募集要項は、別途、当試験センターのホームページに掲載します。

表 1

項 目	内 容
支 援 事 業 名	関西地区電気工事技能コンクール大会
目 的	電気工事技能の向上を通じ、安全にして合理的かつ信頼性の高い適正な工事に資するとともに大会を通じて組合員相互の技能知識交流を図る。
開 催 日 時	平成25年5月14日(火)9:30~17:00
開 催 場 所	近畿職業能力開発大学校近畿ポリテクカレッジ
主 催 者	関西電気工事工業会
協 賛	一般財団法人電気技術者試験センター
後 援	全日本電気工事業工業組合連合会 大阪府電設資材卸業協同組合
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各府県(大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山)から選抜された15名の選手による大会。(大阪9人、奈良及び和歌山0人)</li> <li>・競技内容:パネルに与えられた施工条件のもとで、課題の施工図に示された施工を完了させ、その作品の優劣を競う。競技時間は180分</li> <li>・結果 最優秀賞: 小谷忠司 優秀賞: 奥出孝行、 優秀賞: 河邊克典</li> </ul>
参 加 者 数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技参加者:各府県(大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山)の選手:15名</li> <li>・大会関係者:59名</li> <li>・その他:10名</li> </ul>
支 援 の 内 容	開催経費のうち、会場借料の一部等45万円を支援した。
そ の 他	関西電気工事工業会のホームページに掲載

関西地区電気工事技能コンクール大会（関西地区電気工事工業会）

実施日：平成 25 年 5 月 14 日（火）



表 2

項 目	内 容
支 援 事 業 名	第13回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門開催事業
目 的	全道の各工業高校で取り組んでいる電気工事分野でのものづくりの学習効果の場として、全道の工業高校生が技術・技能を競い合う北海道大会を企画・開催し、選抜された代表者を「高校生ものづくりコンテスト全国大会」等に派遣すること等を通じて、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、若年技術・技能者の育成を図ることを目的とする。
開 催 日 時	平成25年6月7日(金)8:45~16:00
開 催 場 所	北海道室蘭工業高等学校 電気製図室
主 催 者	北海道工業高等学校長会、北海道高等学校工業クラブ連盟
後 援	北海道教育委員会、北海道産業教育振興会 北海道の工業教育を推進する会、 一般財団法人電気技術者試験センター
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全道の工業高等学校電気科の生徒</li> <li>・課題は、第13回高校生ものづくりコンテスト全国大会の課題に準じて設定</li> <li>・「競技規則」、「競技課題」に基づき「施工図」、「施工条件」に示す配線工事を行う。</li> <li>・競技時間:150分内で行う。</li> <li>・結果 最優秀賞: 函館工業 福井勝行、 優秀賞: 帯広工業 荒木和也 優良賞: 苫小牧工業、旭川工業、室蘭工業</li> </ul>
参 加 者 数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技参加者:全道の工業高校10校の代表 10名(電気科 2000名)</li> <li>引率者:10名</li> <li>・事務局関係者:10名(審査員3名)</li> </ul>
支 援 の 内 容	開催経費のうち、材料費等の一部14.4万円を支援した。
そ の 他	北海道工業高等学校長会・北海道高等学校工業クラブ連盟ホームページに掲載。

# 第 13 回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門開催

(北海道工業高等学校校長会)

実施日：平成 25 年 6 月 7 日



表 3

項目	内 容
支 援 事 業 名	第20回配電工事安全技能競技会
目 的	配電工事安全技能教育の一環として、工事技能、安全作業の習得向上を図ることを目的とする。
開 催 日 時	平成25年9月24日(火) 10:00~14:15
開 催 場 所	北陸電力(株)研修センター
主 催	北陸電気工事組合連合会
後 援	なし
協 賛	一般財団法人 電気技術者試験センター
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外線工事と引込線工事について各県1チーム(石川、富山、福井、1チーム3名)による技能競技会。</li> <li>・外線工事: 間接活線作業による変圧器増設工事(変圧器1台吊替工事及び変圧器1台新設工事を行う。)</li> <li>・引込線工事: 活線近接作業による低圧引込線取替工事(高圧引下線を防護しての引込線取替(電灯)を行う)</li> <li>・結果</li> <li>外線工事 最優秀賞: 松本電機(株)、優秀賞: 渡邊電気(株)、 努力賞: (株)小林電気</li> <li>引込線工事 最優秀賞: 前田電気(株)、優秀賞: (有)若葉電気商会、 努力賞: (有)松井電機工業所</li> </ul>
参 加 者 数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技参加者: 各県(石川、富山、福井)から選抜された外線工事1チーム(各チーム3名)計9名と引込線工事1チーム(各チーム3名)計9名 合計18名</li> <li>・大会関係者 81名</li> <li>・その他 17名</li> <li>・研修者 151名</li> </ul>
支 援 の 内 容	・開催経費のうち、会場設備費の一部等54万円を支援
そ の 他	・

第 2 0 回配電工事安全技能競技会（北陸電気工事組合連合会）

実施日：平成 2 5 年 9 月 2 4 日（火）



表 4

項目	内 容
支 援 事 業 名	第32回引込および内線工事技能オリンピック大会
目 的	技能オリンピック大会を通じ、協力会会員の電気工事技術と技能の向上を図り、電気設備の公共保安の確保とお客さまサービスの向上に資することを目的とする。
開 催 日 時	平成25年11月7日(木) 9:30~15:40
開 催 場 所	中部電力(株)人財開発センター配電研修所内線実習館
主 催	中部電気工事協力会連合会
後 援	中部電力(株)
協 賛	(一財)中部電気保安協会、(公社)日本電気技術者協会中部支部 電気安全中部委員会、電気新聞中部総局 一般財団法人電気技術者試験センター
実 施 内 容	12チーム(チーム3名)による実技および学科を競う競技大会 学科 ・第二種電気工事士として必要な施工技術・技能に直結した問題 実技 ・引込、需給装置および屋内・屋測配線に関する工事 ・SSポールは使用しない。 ・実技が終わり次第、お客さま対応接遇競技を実施を課題にお客さまから申し込まれた新增設工事を対象とする。 結果 優勝 長野県Bチーム、準優勝 三重県Aチーム、三重県Bチーム、 3位 岐阜県Aチーム、静岡県Aチーム、静岡県Bチーム
参 加 者 数	・競技参加者:各県(愛知、静岡、三重、岐阜、長野)から選抜された2 チーム、愛知4チーム(各チーム3名)計36名 ・大会関係者 62名 ・その他 336名
支 援 の 内 容	・開催経費のうち、会場借料の一部等119.5万円を支援した。
そ の 他	・中部電気工事協力会連合会HPに掲載

### 第 3 2 回引込および内線工事技能オリンピック大会

(中部電気工事協力会連合会)

実施日：平成 2 5 年 1 1 月 7 日 (木)



表 5

項 目	内 容
支 援 事 業 名	平成25年度 全九州技能競技大会
目 的	電気工事技術者の技能習得意欲を増進し、技術水準の向上を図るとともに、電気工事業の発展を期するため、技能競技大会を行う。
開 催 日 時	平成25年11月9日(土)8:30~16:00
開 催 場 所	飯塚職業能力開発促進センター(ポリテクセンター飯塚)
主 催 者	一般社団法人 全九州電気工事業協会
協 賛	九州電力(株)、沖縄電力(株)、一般財団法人九州電気保安協会、東芝ライテック(株)、東芝電材マーケティング(株)、全日本電気工事業工業組合連合会、(株)白十字安全一般財団法人電気技術者試験センター
後 援	経済産業省九州産業保安監督部
実 施 内 容	各県から選抜された17名による実技を競う競技大会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実技 屋内配線工事の基本的な技能を活用し、課題配線図に基づいて、安全で正確な施行を行う。競技時間は150分</li> <li>・結果 最優秀賞:新川勝也(沖縄)、優秀賞:茨木真弥(福岡)、友利剛(沖縄)</li> </ul>
参 加 者 数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技参加者:各県(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)から選抜された17名(福岡4名)</li> <li>・大会関係者:30名</li> <li>・その他:60名</li> </ul>
支 援 の 内 容	開催経費のうち、会場借料の一部等74.5万円を支援した。
そ の 他	全九州電気工事業協会のホームページに掲載

# 平成 2 5 年度 全九州技能競技大会

(一般財団法人 全九州電気工事業協会)

実施日：平成 2 5 年 1 1 月 9 日 (土)

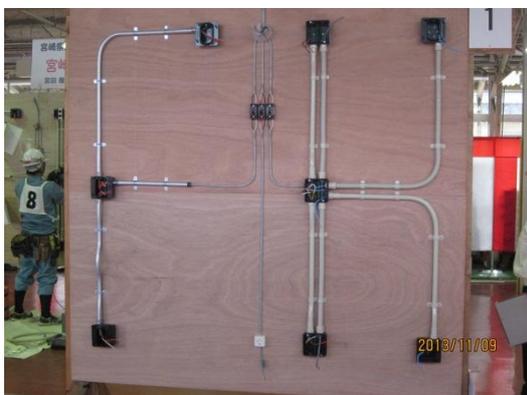


表 6

項目	内 容
支援事業名	第14回全中国電工連技能競技大会(鳥取大会)
目 程	全中国電気工事組合連合会に所属する電気工事技術者の技能の向上及び電気設備における保安の確保を図り、社会的地位の確立並びに電気工事業界の進歩発展に貢献しようとするものである。
開催日時	平成25年11月29日(火)9:30~16:00
開催場所	米子コンベンションセンター 多目的ホール
主催者	全中国電気工事組合連合会
後 援	経済産業省中国四国産業保安監督部 鳥取県,中国電力(株)
協 賛	パナソニック(株)エコソリューション、東芝ライテック(株)、山陰電設資材卸業協同組合、一般財団法人電気技術者試験センター
実施内容	各県の技能競技大会上位5名ずつの25名による実技を競う競技大会 ・実技 屋内配線を想定し、100V並びに200V工事で金属管工事、合成樹脂管工事、ビニル外装ケーブル工事、LAN配線工事、EVコンセント設置工事、TV端子接続工事等を課題とした競技大会。 金賞:泉谷祐真(島根電工(株))、銀賞:内藤功一(大成電気水道工業(株))、銅賞:福田陽司(山口電業(株)米子営業所)
参加者数等	・競技参加者:各県(広島、岡山、鳥取、島根、山口)から選抜された25名 ・大会関係者:100名 ・その他:100名
支援の内容	・開催経費のうち、会場借料の一部等139.9万円を支援した。
その他	・新・へいまつ新聞のホームページに掲載

# 第 1 4 回全中国電工連技能競技大会（鳥取大会）

（全中国電気工事組合連合会）

実施日：平成 2 5 年 1 1 月 2 9 日

